



Title	口語的副詞Kind of, Sort of について
Author(s)	山口, 富夫
Citation	北海道教育大学紀要. 第一部. A, 人文科学編, 32(1): 43-50
Issue Date	1981-09
URL	http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/4113
Rights	

口語的副詞 kind of, sort of について

山 口 富 夫

J. Malmstrom は、その小論 *Kind of and Its Congeners* において、high school students や college freshmen のための language textbooks がその読者に対し、「It's rather cold.」のような文では (rather の位置には) *kind of, sort of* を使わず、*rather, somewhat* を用いるよう指示し、*kind of, sort of* は副詞でなく、故に副詞的に用いられ得ないものであり、これらが colloquial なものであり、それ故に“wrong” “rustic” “loose” で formal discourse で用いるには余りにも informal で用いるべきでない。」とされている事実を述べている。以下、Malmstrom は The Linguistic Atlas の記録や、C. Fries の *American English Grammar* の調査などを述べ、話し言葉で standard であるものが書き言葉ではそうとされず、*kind of, sort of* は colloquial という語が話し言葉の特質を意味すると我がが理解する限り、その通りであるとしている¹⁾。

Malmstrom が初めに述べた textbooks につき、比較的古い出版のものから当たって見たい。G. Wilson ; *A Guide to Better English*²⁾ では、*kind of, sort of* はどちらも *somewhat, rather* の代用とすべきでないとし、INCORRECT : I am *kind of* tired. CORRECT : I am *somewhat* tired. と例示している。Marks & Bryan ; *The College Writer*³⁾ では、*kind of, sort of* が副詞的に用いられた She ran *kind of* (sort of) awkwardly. は inoffensive colloquialism であるが formal writing では許されない、としている。G. Leggett その他による *Handbook for Writers*⁴⁾ では、まず Introduction で“levels of usage”に触れ、言語の研究者が *formal, informal, vulgate level* の用法について、前二者が standard (or “acceptable”) usage で後者は substandard (or “unacceptable”) usage であると語っている事実をあげたうえで、*formal* とは限定された読者を意図した学究的、科学的著述の性質を示し、*informal* とはより打ち解けた、自然な style を示し、日常の writing や speaking、つまり新聞、雑誌の記事、informal な談話、教育ある人の会話等に見られる種類のものであるとしている。しかし同時に、一定の時や場所で優勢である usage が固定したままでいるものでなく、歴史的にはある level の usage が別の level へと絶えず移行しており、この移動の殆どが上向きのものである。つまり、ある時期の *vulgate* が次には *informal* となり、後には *formal* となり得ようと述べている点は大いに注目し値する。*kind of, sort of*、については副詞的に用いられて“*somewhat*” “*rather*”を意味するときは colloquial とし、STANDARD She is *rather* pleased. COLLOQUIAL She is *kind of* pleased、と例示しているが、この著書の姿勢から見ると、普通の場合は She is *kind of* pleased の方が好ましいとされていると考えてよいことになるのではないだろうか。最後に、Barrett の *Writing for College*⁵⁾ によると、*kind of — sort of* につき *rather, somewhat* の意味でこれらの語を使う colloquial な用法は semiformal writing では避けるべきであるとして She felt *kind of* sleepy, but she went on working. (Write *somewhat* sleepy.) The salesman was *sort of* interesting, but no one bought anything. (Write *rather* interesting) と指示している。Barrett はいわゆる “levels

of usage”について the vulgar, the colloquial, the semiformal, the formal と四のクラスに分け、これらを画する明確な線は無いものの、相互に大きな違いが vocabulary, 文構造の複雑性で現れていると述べている。彼によれば semiformal English は informal English と同義で、*The Saturday Evening Post*, *Life*, *The Reader's Digest* 等で使われる言葉で、college での多くの講義で聞かれる言葉でもあるとしている。又、colloquial English との相違は前者がはるかに多くの vocabulary を用い、同時に語の正確な意味にはるかに多くの注意を払うこと、文が不完全であることが減多に無いこと等をあげている。彼は semiformal English を本質的に written language であるともしているが、colloquial な構文や普通に認められる idiom をためらわずに使う点で formal English と異るとも述べているのは、次の例のように彼が somewhat, rather が使われるとした semiformal に属する college での講義に準ずる講演に多く現れることからもうなずけよう。

- 1) — he looked at me *sort of* inquisitively, and said, “Hayakawa, have you read Korzybski?”
(S. I. Hayakawa ; The Contemporary Thought Seminar Series : *Language and Thought*)
- 2) It was stupid, wrong, wicked, etcetera, etcetera, and he came out *sort of* determined — He was a sort of Messianic person, — he *sort of* came out determined that he would try to figure out a way in which wars could be prevented in the future. (*ibid*)
- 3) And the idea that human beings necessarily communicate way across time that is *sort of* built into us as part of culture. (*ibid*)
- 4) ...he *sort of* laid down time-binding as a value in the sense that those forms of behavior that inhibit time-binding, he would say were bad. They were anti-human. (*ibid*)
- 5) They sing or they make noises together and, in a way, they assure each other of each other's presence, do they not? And *sort of* get a joint morale out of doing things together. (*ibid*)
- 6) In this case you have what Bateson calls a meta-contradiction, and so it's *kind of* important to be sensitive to these things and notice that in almost all human relationships, there are a large number of things we communicate to each other not so much by message as by meta-message. (*ibid*)

次に textbook の類よりも本格的な文法、語法に関する書物を調べてみたい。G. O. Curme は an apple of this kind, apples of this kind, Of what kind is this apple? Of what kind are these apples? という代わりに、this kind of apple, these kind of apples, What kind of apple is this? What kind of apples are these? と云う人が多く、これらの表現で kind of が発展して形容詞となっていること、つまりこれは一般の形容詞が副詞として用いられるのと同様に、口語体では形容詞を動詞と関連した副詞として広く用いられている点から考えれば当然のことであるとして、I kind of expect it. と例をあげて kind, manner の複数に関する論の中で名詞→形容詞→副詞と変化していく口語体に著しい現象の一端を考察している⁶⁾。

The Oxford English Dictionary では Kind, sb 14. Kind of. d の項で colloq. kind of が in a way, as it were, to some extent の意味で副詞的に用いられるとして、この副詞的用法は形容詞的なものから発したとして 'She was a mother of a kind to me, She was a kind of mother to me, She kind o' mothered me, と発展の過程を考察し、19世紀半ばから終り頃迄の例文をあげている。次に示す通り、他にも19世紀後半に用いられた例が英米共に見られるからこの頃より始めて次第に一般化したと考えられる。

- 7) "let's see — Black Dog? No, I don't know the name, not I. Yet I *kind of* think I've — yes, I've seen the swab. (R. L. Stevenson ; *Treasure Island*)
- 8) "I reckon, Cap'n Hawkins, you'll *kind of* want to get ashore, now. S'pose we talks." (*ibid*)
- 9) — and I sold out my business and bought this yer place, because it was *sort of* out of the way of travel, you see,---
(B. Harte ; *Miggles*)
- 10) "you see it's *sort of* rough on his pardner. And now gentlemen,"
(B. Harte ; *Tennessee's Partner*)
- 11) "It's been more'n six months now that she's seemed unhappy and lonesome, and *kinder* nervous and scared-like. And sometimes I've ketched her lookin' at me *sort of* timid and pitying.---
(B. Harte ; *Brown of Calaveras*)
- 12) The rosewood cradle, packed eighty miles by mule, had, in Stumpy's way of putting it, "*sorter* killed the rest of the furniture."
(B. Harte ; *The Luck of Roaring Camp*)

11) の *kinder*, 12) の *sorter* は実際に発音されたとき、最後の摩擦音 *VI* が消えて聞えるのが普通である事実をそのまま綴りに書いたもので *kinda*, *sorta* と書いても同じことであることによるとされる⁷⁾。もっとも *kind of*, *sort of* と書いている場合よりも、話し手がより気軽に話しているか、より substandard に近く話している感じがもたれることは言うまでもない。

H. Poutsma は名詞の副詞への風変りな転換が *sort of*, *kind of* の colloquial で vulgar な用法で、動詞、形容詞を修飾するに至っているとしている。更にその起りは、*She was a kind of mother to me* > *She was kind of mother to me* > *She kind of mothered me* であったであろうと考察して今ではきわめて普通に見られるとしている⁸⁾。ここで注目したいのは *a kind of mother* から *kind of mother* へと *a* が脱落した点である。これによって *kind of* は、いわば成句化し、同時に *of* のあとに来る語も名詞とは感じられなくなり、その後は形容詞、副詞、動詞等が来るようになって遂に *kind of*, *sort of* は一つの副詞として扱われるに至ったと考えられよう。この *a* が脱落した段階の例はしばしば見られるのである。

- 13) and he used to keep insisting and insisting that I ought to be in the movies. Said I ought to be doing *sort of Garbo parts*. (D. Parker ; *The Last Tea*)
- 14) "Hey, don't you know who I am?" "Yeah," she answered with *kind of disdain*. "You're the guy that owns Barrett Hall." (E. Segal ; *Love Story*)
- 15) "Ollie, think," she said, her tone *kind of pleading* now. (*ibid*)
- 16) SHE : Yes, only he won't let himself go. It's psychological. He's gotten to the stage of sorting out his emotions, and *kind of freeing* them from all those men, you know, Marx, Lenin, Trotsky. (P. Ustinov ; *Romanoff and Juliet*)

15), 16) の例は動名詞があとに来たものと見なすべきであろう。

語法関係の文献を見ると、規範的傾向にあるもの、特にイギリス人によるものがこの用法に厳しいと云える。Fowler⁹⁾ は単に、動詞に先行する *sort of*, *kind of* は他の *sort*, *kind* の用法よりも colloquial な場合に限定されるとだけ述べ、形容詞等にも先行する副詞の用法には触れることなくこの問題にはあまり関心のない態度であるが、V. H. Collins¹⁰⁾ は *sort of*, 及びより普通に見られない *kind of* が、'rather' の意味で動詞、形容詞を修飾し副詞的に用いられるのは正しくないと言明し、vulgar colloquialism ときめつけている。Treble & Vallins も *An ABC of English Usage* で軽く触れ、好ましくない colloquialism としている。一方、規範的でなく、科学的態度で過去数十年

間の英語に起った変化を記したとしている C. Barber¹¹⁾ は *sort of*, *kind of* が学校などで‘不必要、不正確’であるとして攻撃されているにも拘らず、話し言葉では極めて普通に使われているとし、*ought to* ('ɔ:tə) で見たような種類の音声変化を受け、'Sɔ:tə, kaɪndə となりつつあると現状を述べている。最新の出版に目を向けると、F. T. Wood の原著 *English Colloquial Idioms* を R. J. Hill が改訂した書¹²⁾ によれば、副詞的に用いられた *kind of* は colloquial English では容認されるとしている。又、直接話法ではしばしば *kinda* とも書かれることもあると述べ暗にこの用法を認める立場をとっている。同じく最新のものに属する M. Swan¹³⁾ の語法書には、*sort of*, *kind of* を特に副詞と規定せず、表現や文をより不明確に漠然と感じさせるため、informal style で用いられるとし、名詞、動詞、形容詞等様々な品詞に伴って使われ得、*kind of* がアメリカ英語でより普通であるとしているが、例文はすべて副詞的用法をあげている。

本格的な文法書で最も新しいものの一に Quirk その他による *A Grammar of Contemporary English* があるが、ここでは *kind of*, *sort of* を Intensifiers の中の Downtoners とし、更にその中の Compromisers に分類している¹⁴⁾。Compromisers とは一般的に調子を高める効果を持つ Intensifiers とは反対に、動詞の力を弱めるという効果を持つとされる Downtoners の中でも軽度の低下的效果を持つだけのものとされている。*kind of*, *sort of* は informal な特にアメリカ英語のものとされ、特にイギリス英語に属するとして *quite*, *rather* をあげ、その他 *enough*, *sufficiently*, *more or less* を加えているが、*quite* については問題があろう。

比較的最近のアメリカで現れた語法の文献に目を向けると、まず M. Bryant が複数の調査者の協力を得て編集した *Current American Usage* で、前掲の Malmstrom の小論から、あらゆる type の情報提供者の話し言葉で *kind of*, *sort of* の総出度が *rather* のそれをはるかにしのいでおり、*rather* が退行しつつある種類のものであること、特に *kind of* が殆どの地方で大多数を占めているとされておりこのことはある調査者が読み物でも、聞いた場合でも、あらゆる状況で *kind of* が好んで使われているのを知ったと記している¹⁵⁾。又、Evans & Evans は *kind of* が形容詞、動詞を修飾する用法は一般に非難されるにも拘らず、合衆国ではこれを非難する人々を含め、あらゆる level の話し言葉で聞かれ得るものであり、*sort of* についても強い非難がある一方で最も高度の教育ある人々の話し言葉で聞かれ得ると実情を述べている¹⁶⁾。R. Copperud によると、*kind of* のこの用法は厄介なもので非難、容認各論ありとした上で The consensus is negative. と片付け、非とする方が多いとしている¹⁷⁾。しかし、R. Flesch はこの種の *kind of* は、今や普通の idiom であり、これを避ける理由は全く見当たらないと積極的に容認し、*sort of* についても good idiomatic English であると肯定している¹⁸⁾。

ここで英米の現代の小説、戯曲、雑誌等でこの語法の実情を見て、改めて考察を加えたい。

17) At any rate, good old Pop celebrated the New Year for an even two weeks and then slapped into the front of a somewhat moving city omnibus, which *sort of cleaned* things out family-wise. (E. Albee ; *The Zoo Story*)

18) HOWIE (to the SALESMAN) : If you ask me, she's still a kid herself. SALESMAN : *Kinda pretty*. S'pose she wants a little company? (W. Inge ; *Glory in the Flower*)

19) JACKIE : Right now, I feel very old, and I'm *kinda proud*. (*ibid*)

20) Course...I'm not sayin' that tendin' bar is the greatest job in the world.... but I *kinda like* it. (*ibid*)

21) We better put it off. We'd look *kind of silly*, both of us in skirts. (R. Anderson ; *Tea and Sympathy*)

22) I *sort of talk* to him like a father, go up to see him at his school once in a while, and that kid listens to me... (*ibid*)

23) Well, ho does act *sort of queer*, Mrs. Reynolds. He---(*ibid*)

- 24) TOM. All right, now I'm walking. Tell me. AL. Tom, I don't know. You walk *sort of light*. TOM. Light? (*He looks at himself take a step.*) (*ibid*)
- 25) For an instant it was hard to tell what was going to happen, because after the billy had butted Handsome, both of them *sort of stopped short*, like two boards coming together in mid-air. (E. Caldwell ; *Georgia Boy*)
- 26) "well, I did *sort of borrow* his banjo," he said slowly. "I asked him to lend it to me for a while, but he wouldn't do it, so I went up in the loft where he keeps it in the shed and took it down." (*ibid*)
- 27) I told him a dollar, because I *sort of halfway* didn't expect him to have a dollar but, sure enough, he had the money right in his pocket, ---- (*ibid*)
- 28) "It's sure a beauty, all right. It *sort of sets me off*, don't it?" (*ibid*)
- 29) 'I don't go out much any more,' I said. 'I'm getting *kind of frail*.' (R. Chandler ; *Killer in the Rain*)
- 30) And Mr. Thorkelson is (*gesturing a very small man*) ...well, *kind of timid*, really. (J. V. Druten : *I Remember Mama*)
- 31) ...for a little. Is very bad? ARNE : It is... *kinda...* Oo — oo...! (*ibid*)
- 32) Nobody's said so... for certain. But I've *sort of hinted*, and... (*ibid*)
- 33) It was *kinda hard* for her to do. (*ibid*)
- 34) You take an old lady like that. They're *sort of helpless*. We young folks who can climb trees should help them. (M. Hager ; *When I am President*)
- 35) "He took too many beatings, for one thing," the Negro sipped the coffee. "But that just made him *sort of simple*. (E. Hemingway ; *The Battler*)
- 36) If you don't mind I wish you'd *sort of pull out*. (*ibid*)
- 37) I have to *sort of keep him away from* people. (*ibid*)
- 38) Why didn't you say something before in the drug store when we — when we first *sort of noticed* each other? (F. H. Herbert ; *The Moon is Blue*)
- 39) You looked *sort of forlorn* and I wanted to talk to you, but you're much too young. (*ibid*)
- 40) You're not engaged to her now? I mean, not even *sort of*? (*ibid*)
- 41) Is that why you picked me up — *sort of on the rebound*? (*ibid*)
- 42) DAVID. Is that what you are — a model? PATTY. (*modestly*).Well, yes — *sort of*. (*ibid*)
- 43) Correct me if I'm mistaken, but weren't you *sort of engaged* to her? (*ibid*)
- 44) I think it's getting dry, *sort of*. (*ibid*)
- 45) Maybe it's because we were brought up *kind of different*, you and I. (J. O. Killens ; *God Bless America*)
- 46) "Mr. Whalen," said the pilot, "I'm going to have to —" he hesitated — *sort of frisk* you before take-off." (J. Kosinski ; *The Devil Tree*)
- 47) "End of the line. No trip to Cuba this time, my friend." "Why Cuba?" "Let's just say you *sorta* look the part." When they returned, Whalen noticed a police car waiting next to the landing apron. ---Two policemen got out of the squad car and approached him. (*ibid*)
- 48) "Oh, I know I'm attractive. *Sort of*. Well, with my clothes off, anyway —" (A. Laurents ; *The Way We Were*)
- 49) "Well then," she said with a timid smile, "I guess you love me. *Sort of*." "Not *sort of*, and you know it." His voice snapped and crackled. "Yov knew it when I came back." (*ibid*)
- 50) I think the fact that you're not settled, that you're still *kind of up in the air...* (A. Miller ; *Death of a Salesman*)
- 51) — well, Dad left when I was such a baby and I never had a chance to talk to him and I still feel — *kind of temporary* about myself. (*ibid*)
- 52) WILLY : I'm out! [*Driving*] So tell me, he gave you a warm welcome? HAPPY : Sure, Pop, sure! BIFF [*driven*] : Well, it was *kind of* — (*ibid*)
- 53) WILLY [*with a big smile*] : What'd he say? Betcha he threw his arm around you. BIFF : Well, he *kinda* — (*ibid*)
- 54) The principal was in the other room *sort of listening* and he told her to leave..." (J. C. Oates ; *Stray Children*)
- 55) I got plans for the future but I'm *sort of shaky*, I can't sleep at night without some heavy stuff... (*ibid*)

- 56) It seemed like such poor taste, *sort of*, to want to act in the first place. I mean all the *ego*. (J. D. Salinger ; *Franny and Zooey*)
- 57) 'It's really *sort of interesting*, in a way.' (*ibid*)
- 58) but I'd like you *to sort of glance through* it while you're here.' (*ibid*)
- 59) He says that any name of God — any name at all — has this peculiar, self-active power of its own, and it starts working after you've *sort of started* it up. (*ibid*)
- 60) 'The bartender and I. We *sort of hoisted* you in. You scared the hell out of me. I'm not kidding.' (*ibid*)
- 61) I had lunch with him one day a couple of weeks ago. A real schnorrer, but *sort of likable*, and apparently he's hot over there right now.' (*ibid*)
- 62) It would be all right, in a way, if you thought his personal affectations were *sort of funny*. (*ibid*)
- 63) I've heard people say she was *sort of nice-looking*, if she wouldn't make up so much. (D. Parker ; *The Last Tea*)
- 64) 'It just makes me feel *sort of sick* to see a girl drink. (*ibid*)
- 65) But one thing he noticed that *kind of puzzled* him ; she wasn't *really* crying. (W. Saroyan ; *Sweetheart Sweetheart Sweetheart*)
- 66) Besides, we're *sort of new* at this and we don't know any more numbers." (M. Schleyen ; *Sandy Gordon Stories*).
- 67) "Yes, he does seem *sort of ... more grown-up*." (*ibid*)
- 68) "Oh, it's at Fiftieth Street," said Jean. "We're walking south toward Thirty-fourth. Did you want to see it? It's *sort of corny* by now." (*ibid*)
- 69) "Yoy see, Mrs. Stern," he said, "Josh is *sort of* well... he's *kind of ...*" (*ibid*)
- 70) I said that as ominously as I could, *sort of implying* that I would punch-out any rivals who would creep into bed with Jenny while I was out of sight and evidently out of mind. (E. Segal ; *Love Story*)
- 71) He may not be a genius or a great football player (*kind of slow* at the snap), but he was always a good roommate and loyal friend.. (*ibid*)
- 72) "Yeah, Jen, yeah?" asked Phil, fearing the worst. "Uh — *kind of negative* on it, Phil," (*ibid*)
- 73) But a section of Walt Whitman's *Song of the Open Road*, though *kind of brief*, said it all for me : (*ibid*)
- 74) Jenny *was sort of waving* the invitation to bug me. (*ibid*)
- 75) "I thought you said you didn't look at it!" she *sort of yelled*. (*ibid*)
- 76) Jenny went around for a week *sort of singing* a jingle that went "jonas, Marsh and Barrett." (*ibid*)
- 77) Jenny looked *kind of pale and gray* when I got home, but I hoped my fantastic idea would put some color in those cheeks. (*ibid*)
- 78) He looked at me. And *sort of nodded*, I think. (*ibid*)
- 79) Even then, you had a quality about you, Muriel, that was *sort of* — well, *untouched*.(N. Simon ; *Plaza Suite*)
- 80) Why, a trick horse is *kind of like* an actor — no dignity, no character of his own," (J. Steinbeck ; *The Red Pony*)
- 81) "I do feel *sort of illicit*. As if I've stolen something." (J. Updike ; *Giving Blood*)
- 82) I feel *sort of insubstantial and gentle*, but it's probably psychosomatic. (*ibid*)
- 83) 'Are'nt you getting *kind of tired of talking* about him, Em? That was five months ago,' (K. Vonnegut, Jr. ; *Tomorrow and Tomorrow and Tomorrow*)
- 84) She's just got out of bed after a big sorta operation, and we must all move around *kinda quiet*. (T. Wilder ; *The Happy Journey*)
- 85) Yes, it's *kinda foolish*. (*ibid*)
- 86) It was just after four when I heard 'im get to his feet and *sort of stagger about*. (*Reader's Digest*. January 1981)
- 87) 'I'm getting you the coat,' he found himself saying. 'Saving up?' '*Sort of*,' he said. (H. E. Bates ; *The Man Who Loved Squirrels*)
- 88) but somehow or other, in some peculiar way, they both appear *to be sort of connected together* as well. (R. Dahl ; *The Landlady*)
- 89) — and, of course, I had hell, but gradually things got *sort of clearer* in my mind, and when I got back

- I was out of the wood. (T. Rattigan ; *The Deep Blue Sea*)
 90) 'He's more like a son to me than a dog,' said master, *sort of wistful*. (P. G. Wodehouse ; *The Mixer*)
 91) I might be scared if it wasn't for him, but he *kind of gives* me confidence. (*ibid*)

Witherspoon は *Common Errors in English and How to Avoid Them* において、これが「形容詞の前では望ましくないが可、動詞の前では不可とする」と述べていると云われるが¹⁹⁾、実際には、*kind of (kinda)* については〔17〕例以下の文について見る限り〕、24 例中動詞の直前がわずか 4 例であり、*sort of (sorta)* の方は 53 例中、23 例見出される。両者を合せても決して多いと云えないが、*sort of* については、かなり用いられていることを考えると実状は必ずしも「好ましくない」と一部の文法家に云われる通りとは云い難いであろう。又、37), 58), のように to 不定詞の中に入って分離不定詞を作ったり、40), のように文の最後に置かれたり、或は 42), 44), のように文から半ば離れかけた形で現れたり、更に発展して 48), 49), 87), のように完全な一語一文として機能している例が見られる。59), の例では完了形の中に入り、74), では進行形の中に入っている。これらはいわば副詞的用法の極限状態を示すもので、口語ではこの語法が確立したものと見なしてよいと云われる通りであろう²⁰⁾。

又、31), 52), 53), 67), 69), 79), の各例のように、well が間を持たせるための間投詞として無意味な音声で使われるのに似た、言いよどんで次の言葉を考えるため使われていると思われる例もある。これも 1 つの注目に値する用法と云えよう。最後に、26), のように盗んだとまで判然と云えず、borrow を修飾して云い方を出来るだけ和らげようとしたり、46), のように余りにもはっきりした意味をもつ動詞の前で、強い衝激を避けてやろうとする気持を表したりしている例は、downtoner の本来の姿を示すものとして十分に味わうに値する表現と云えよう。

注

- 1) L. F. Dean & K. G. Wilson : *Essays on Language and Usage*. Oxford University Press, Inc. New York. 1965 pp. 288—290
- 2) G. P. Wilson : *A Guide to Better English*. F. S. Crofts & Co. 1945 p.383
- 3) P. Marks & A. J. Bryan : *The College Writer*. Harcourt, Brace & Co. 1946 p. 228
- 4) G. Leggett. C. D. Mead & W. Charvat : *Handbook for Writers*. Prentice-Hall. Inc. 1951 pp. 4—5 p. 218
- 5) L. Barrett : *Writing for College*. American Book Company 1956 p. 493 pp. 19—21
- 6) G. O. Curme : *Principles and Practice of English Grammar*. Barnes & Noble, Inc. 1946 § 94. D.
- 7) L. F. Dean & K. G. Wilson : *op. cit.* p. 289
- 8) H. Poutsma : *A Grammar of Late Modern English*. Pt. II Sec. II P. Noordhoff. 1926 p. 661
- 9) H. W. Fowler : *A Dictionary of Modern English Usage*. rev. by E. Gowers. Oxford at the Clarendon Press. 1965 s. v. 'sort'
- 10) V. H. Collins : *Right Word, Wrong Word*. Longmans, Green and Co Ltd. 1957 p. 111
- 11) C. Barber : *Linguistic Change in Present-Day English*. Oliver & Boyd. 1974 p. 138
- 12) F. T. Wood and R. Hill : *Dictionary of English Colloquial Idioms*. The Macmillan Press Ltd. 1980 s. v. kind
- 13) M. Swan : *Practical English Usage*. Oxford university Press. 1980 Sec. 565
- 14) R. Quirk.S. Greenbaum. G. Leech & J. Svartvik : *A Grammar of Contemporary English*. Longman Group Ltd. 1972 pp. 438—439 pp. 452—453
- 15) M. M. Bryant : *Current American Usage*. Funk & Wagnalls Company, Inc. 1962 p. 124
- 16) B. Evans & C. Evans : *A Dictionary of Contemporary American Usage*. Random House. 1957 s. v. kind, sort of,

- 17) R. H. Copperud : *American Usage and Style* THE CONSENSUS. Van Nostrand Reinhold Company. 1980 s. v. kind,
- 18) R. Flesch : *The ABC of Style*. Harper & Row, Publishers 1980 s. v. kind of, sort of,
- 19) 大塚高信編：「新英文法辞典」(三省堂, 1970) kind of, sort of(4)
- 20) 安藤 貞雄：英語語法研究 研究社 1969, p.168

(本学助教授・岩見沢分校)